



# スモールステップ



## 7月号

新しい風に

副校長 藤上 実

紀

この4月に本校は11名の新任教員を迎えました。昨今ニュースでも報じられていますが、全国的に教員不足が喫緊の課題となっており、東京都も例外ではありません。11名は、「授業がしたい!」「特別支援教育に携わりたい!」と夢と志をもって着任しました。東京都にとっては、未来の教育を担う大切な人材です。先日は新任教員にとって初めての参観授業でした。たくさんの保護者の方に御参観いただき、緊張でいっぱいだったようですが、ある教員は、「連絡帳の温かい感謝の言葉に励まされ、子供たちのために頑張ろうと思いました。」と話してくれました。また、ある教員は、反省アンケートに御意見をいただいたことで、自身の指導について振り返り、先輩教員と相談しながら改善を進めています。東京都や学校は組織的に新任教員の研修を行っています

## 学校給食を通じて学んでほしいこと

栄養士 八代 真佑

本年4月に着任しました八代と申します。よろしくお願いたします。学校給食はお昼の栄養補給という役割だけでなく、食事を通して様々な能力を身につける絶好の学びの場です。「〇〇が食べたい」「これは減らしてほしい」といった意思表示のツールになったり、席に座って待つ、お友達と会食するといった社会性を養ったり、食具は手指機能の向上につながったりもします。

食事は、「自分」とは異なる「外界」の刺激を取り入れる行為でもあります。食事の幅が広がると、興味や活動の場も多方面に広がっていきます。子供たちの好きな献立を織り交ぜながら、一汁三菜の和食を中心に献立を組み立てています。初めてのもの、苦手なものも一口トライ!を毎日の給食で繰り返しチャレンジしながら、世界を広げていってもらえたらと思います。

## ◆◆地域にかかりつけ医院をもちましょう!◆◆

養護教諭 小西 千絵

お子様が成長され思春期に入ると、ホルモンバランスの影響のためか、心身ともに不安定になることがあります。それまでまったく医療管理が必要なかったお子様が突然発作になる、気分の浮き沈みが激しくなる、自傷・他害が始まる、眠れなくなるということがあります。

かかりつけの医師に普段からお子様御本人の様子を診ておいていただくと、病院受診が必要になった場合の情報共有がしやすく、スムーズな支援につながります。20歳になったときに申請できる障害年金の手続きにおいても、成長や治療経緯を共有している医師がいることは大変重要です。

今は特に問題がなくても、心配なことがあればすぐ受診できるようなかかりつけ医院があると安心です。お子様が小さい時から定期的に受診して、病院の雰囲気や医師の顔に慣れておくといでしょう。